

2020年度第4回理事会議事録

1. 日時：2021年2月27日（土） 13:30～16:58
2. 場所：オンライン会議（Zoom）
3. 出席者（テレビ会議による出席）：

理事：総数 26名中

松丸喜一郎会長 田村恒彦副会長 褐田登喜造副会長兼専務理事
岸高清常務理事 溝部政司常務理事 永谷喜一郎常務理事
大野明敏常務理事 鍵山博常務理事 横山幸子常務理事
三木容子常務理事 佐橋朋木理事 源洋子理事 成山悟史理事
寺澤良悦理事 田中僚一郎理事 高橋信吾理事 田中辰美理事
田口亜希理事 松島愛理事 横沢聰理事 尾崎和郎理事
五十嵐治人理事

以上出席 22名

監事：総数 2名中 石崎和男 香西俊輔 以上出席 2名

4. 議事録署名人：松丸会長、田村副会長、褐田副会長、石崎監事、香西監事
5. 褐田専務理事が 13 時 30 分に理事 22 名出席で成立するとの宣言をした。
6. 議長：代表理事 松丸喜一郎

藤井彌事務局長が点呼をとり、オンライン会議システムにより、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明ができる状態となっていることが確認されて議案の審議に入った。

会長挨拶

橋本聖子前副会長がオリパラ組織委員会の会長に就任されたが、経歴、実績から最適な方だと思っている。スポーツ界の環境が大きく変化している。我々が目を向ける相手は社会、国民であり、責任を負っており、自律、経済的自立が求められている。4月から導入される新宿区のふるさと納税制度もその一環である。本日の議案の中には、そうした環境変化に即した新しい事業展開も含まれているので、よろしくご審議頂きたい。

<審議事項>

1. NRAJ 認定コーチ資格制度の登録・更新料の改定について
成山指導者育成部会長より、資料1にもとづいて案が説明された。
議長が諮ったところ全員異議無く、NRAJ 認定コーチ資格制度の登録・更新料の改定について資料1のとおり承認した。
2. マーケティング事業計画及び予算案
佐橋マーケティング部会担当理事より、資料2にもとづいて案が説明された。

松丸会長より、以下の補足説明があった。

- マーケティングは、協会が経済的自立を図るための術
- SNS を活用して競技者以外にも射撃にかかわる人を増やす事は、単なる広報活動ではなく、マーケティング活動である。これにより、SNSへの広告に価値が生れ、宣伝媒体となり、スポンサー収入になるため。
- スマホ対応に200万かけるが、会員サービスだけでなく、一般の方に知って頂くツールとしての投資。

議長が諮ったところ全員異議無く、マーケティング事業計画及び予算案について資料2のとおり承認した。

3. 国際審判員の戦略的養成方針案

溝部競技運営委員長より、資料3にもとづいて案が説明された。派遣対象者となっていた鈴木慎平氏は、オリパラの上で今年会社の休みをとる関係上、アジアエアガン大会（カザフスタン）への出役は困難となった。年度中に別の大会を準備して派遣したいとの補足があった。

議長が諮ったところ全員異議無く、国際審判員の戦略的養成方針案について資料3のとおり承認した。

4. 社会貢献事業案

松丸会長より、資料4にもとづいて案が説明された。

議長が諮ったところ全員異議無く、社会貢献事業案について資料4のとおり承認した。

5. SB標的在庫負担軽減案

袴田専務理事より、資料5にもとづいて案が説明された。

永谷常務理事より、在庫処分としてもう少し値段を落としても良いのではないか、との質問があった。

袴田専務理事より、2万枚売ったところが損益分岐点となり、今後も輸入するので在庫処分ではないが1500枚以下は工夫できる、との回答があった。

石崎監事より、不良性のある在庫ではなく、大きなインパクトのある数字ではない、との説明があった。

松丸会長より、値引きをして在庫軽減をはかる方針を承認いただき、具体的な金額は会長と専務理事に一任いただきたい、との提案があった。

議長が諮ったところ全員異議無く、SB標的在庫負担軽減案について資料5のとおり承認した。

6. 推薦業務デジタル化案

袴田専務理事より、資料6にもとづいて案が説明され、ブロック理事から各加盟団体へ電子化を説明するよう、依頼があった。



永谷常務理事より、デジタル化を今から手をつけておく事はとても良い、との意見があった。

高橋理事より、パソコンもスマホもさわれない会員はどうするのか、との質問があった。

袴田専務理事より、作業量は少なくて簡単なシステムになるので、加盟団体や友人の協力を得ながらご協力をいただきたい、との回答があった。

議長が諮ったところ全員異議無く、推薦業務デジタル化案について資料6のとおり承認した。

松丸会長より、社会貢献事業やマーケティング事業など新たな事務局業務も増えることから、現行業務をデジタル化、合理化により軽減することにより対応する必要が有る、との補足説明があった。

7. 2021年度予算案

袴田専務理事より、資料7にもとづいて案が説明された。

- 2021年度は、規則集はつくらない。
- 認定料収入は、（オリンピックの射撃競技会場となる）陸上自衛隊朝霞訓練場の公認料を含んでいる。
- JOCカップの交付金がなくなったので、ゼロとなっている。
- 寄付金収入については、江副財団が中止になったので、減っている。
- 競技運営は、リモーファイナルを見越した予算。
- ホームページ関係日には、スマホ対応を含む。
- 1300万の赤字予算となっているが、メダルの報奨金(1300万)を含んでおり、それを除くとバランスがとれた収支。

議長が諮ったところ全員異議無く、2021年度予算案について資料7のとおり承認した。

8. 2021年度事業計画案

袴田専務理事より、資料8のp23にもとづいて事業計画案が説明された。

佐橋競技企画部会長より、資料8のp24-26にもとづいて競技会計画等の案が説明された。また、2020年度の全国通信ライフル射撃大会（10mAP/AR）の要項が別添1にもとづいて説明された。

大野常務理事より、以下の意見があった。

- 今後についてはランキング試合にするのであればG3に指定して役員配置を担保してほしい。
 - 集合もできる時は積極的に行って欲しい。
- 佐橋競技企画部会長より、以下の回答があった。
- ランクリストもG3,4混合なので解釈を拡大している。
 - 集合開催にプラスして参加者を増やす方法として分散開催という選択肢を試験導入したい。

松丸会長より、射撃競技はジェンダーフリー、健常者障碍者共生を先導できる競技であることから男女、オリパラと一緒に実施する競技会を積極的に行っていきたい、との意見があった。

議長が諮ったところ全員異議無く、2021 年度事業計画案について資料 8 のとおり承認した。

9. 栃木国体以降の国体カード配分について

鍵山国体委員長より、資料 9 にもとづいて案が説明された。

議長が諮ったところ全員異議無く、栃木国体以降の国体カード配分について資料 9 のとおり承認した。

10. 2021 年度 育成アスリート指定基準及び海外派遣要綱(案)

三木ジュニア育成委員長より、資料 10 にもとづいて案が説明された。

議長が諮ったところ全員異議無く、2021 年度 育成アスリート指定基準及び海外派遣要綱(案)について資料 10 のとおり承認した。

11. 競技運営規則改訂案（分散リモートに対応する為の改定を含む）

溝部競技運営委員長より、資料 11 にもとづいて案が説明された。

袴田専務理事より、データで報告できるように簡素なフォーマット（特に IR と CN）にして実施してほしい、との意見があった。

溝部競技運営委員長より、事務局長と進めており、IR と CN の簡素化を行う、との回答があった。

石崎監事より、ガバナンスコードでは審判の選ぶ方法を書いて欲しいのではないか、との質問があった。

袴田専務理事より、予備審査チームからは細かい表記の指定はなく、どこが選ぶのか明記する事を求めるということであった、との回答があった。

大野常務理事より、射撃場によって環境は異なり、不公平がないようにコントロールに励む必要がある、また、競技会は集合が原則であるべきとの意見があった。

議長が諮ったところその他異議無く、競技運営規則改訂案（分散リモートに対応する為の改定を含む）について資料 11 のとおり承認した。

12. 審判員の公認

溝部競技運営委員長より、資料 12 にもとづいて案が説明された。

議長が諮ったところ全員異議無く、審判員の公認について資料 12 のとおり承認した。名誉審判は、次回の理事会審議となる。

<報告事項>

● 委員会報告：

1) 総務委員会

・ 総会用理事候補等推薦についての報告

藤井彌事務局長より、資料 13 にもとづいて報告がなされた。

永谷常務理事より、なぜ 70 歳定年を求めるのか、時代に逆行しているのではないか、との質問があった。

岸高常務理事より、定年制を導入した経緯の説明があった。

袴田専務理事より、以下の回答があった。

- 規程では制限をしていないが、参事は理事候補として経験を積んでもらう若い人材として期待しているため、今回は加盟団体に若手の推薦をお願いしたい。
- 地方加盟団体の会長や理事長は、助言をしていただく参与の立場についていただきたい。

・ 事業計画・競技大会開催要項の冊子販売終了の報告

袴田専務理事より、資料 14 にもとづいて報告がなされた。

・ ガバナンスコード対応状況報告

藤井彌事務局長より、口頭にて以下の報告がなされた。

- 2月 19 日に予備調査が終了。

- 3月に審査委員会で審査結果を決定、4月に各統括団体で審査結果を機関決定、5月に審査結果を競技団体へ通知し統括団体ホームページで審査結果を公表。

・ 加盟団体定款変更状況報告

藤井彌事務局長より、変更を依頼した 44 加盟団体のうち 15 団体が変更を現在完了している、と口頭にて報告がなされた。

松丸会長より、ガバナンスコードの導入で今まで以上に規程などの整備がもとめられており、2021 年度中に各加盟団体の定款整備を実現したい、との発言がなされた。

横山総務委員長より、2021 年度の総会で変えるべきところを変えるためにも、今のコロナ禍でも議決できる理事会や総会の仕方についてアドバイスを書面で加盟団体に送る、との発言がなされた。

・ 興東電子の大会軌跡表示システム購入状況報告

藤井彌事務局長より、口頭にて状況の報告（以下税抜）がなされた。

- 興東電子と交渉した結果、税抜き 300 万円で決着し、2 月 24 日の総務委員会で報告した。
- スポーツ庁の助成対象となるので、その分を充てると協会の持ち出しは 200 万円弱となる。
- 2020 年度に支払いを完了する予定。

2) 推薦委員会報告

- 審査結果報告
大野推薦委員長より、資料 15 にもとづいて報告がなされた。
- 近代五種からの AP 枠返還について
大野推薦委員長より、4月から AP500 丁枠全てが日ラの管理下になることが、口頭にて報告がなされた。



3) 国体委員会報告

- 三重国体内容等について報告
鍵山国体委員長より、資料 16 にもとづいて報告がなされた。
- 佐賀県正規視察報告
鍵山国体委員長より、資料 17 にもとづいて報告がなされた。

4) 2020 東京オリンピック準備運営本部報告（袴田本部長）

袴田本部長より、テストイベントについて、緊急事態宣言による入国制限などにより工事や許可などが遅延し、同大会が 5 月 17 日からの 5 日間（現時点予定）に延期されたこと、日本選手のみにより実施されることが報告された。

5) 選手強化委員会報告

- 田村選手強化委員長より、以下の内容が口頭にて報告された。
- NTC 利用はコロナ感染防止対策が細心の注意で行われている。
 - ゴランとエミール両コーチは入国し、選手たちへの指導を行っている。
 - 10m 選考会は 3 月、25m 選考会は 4 月、50m 指定記録会は 4 月末に実施されるので、5 月の理事会で選手選考の内定をお願いしたい。



6) ジュニア育成委員会報告

- 2020 年 12 月東アジアユース大会報告
三木ジュニア育成委員長より、資料 18 にもとづいて報告がなされた。



7) 競技運営委員会報告

- ISSF ルール改定報告
溝部競技運営委員長より、資料 19 にもとづいて報告がなされた。
- 詳細は、28 日の審判講習会を Youtube 配信する。
- 予選なしについては、2021 年度から適用する。
- 新しい団体競技種目の導入時期は未定。
- 徳島射撃場変更報告
溝部競技運営委員長より、資料 20 にもとづいて報告がなされた。
- 田村副会長より、徳島県の射撃場の認定を同県現在はコロナ禍であるが、同県の役員だけで認定検査を行うことは公平性の観点から今後避けるべきではない



かとの質問がなされ、溝部競技運営委員長より配慮するとの回答があった。
鍵山常務理事より、10m のバッキングターゲットないので公認出来ないので溝部競技運営委員長より、G3+までは必要だが、G3, 4 についてはそこまで要求していない、との回答があった。IF に基準があれば、明記する。

● 会務報告

- 新宿区版ふるさと納税について
松丸会長より、ぜひこの制度活用してほしい、との呼びかけがなされた。
- 2021 年度主催競技会計画
尾崎理事より、SH1 だけでなく SH2 も表記してほしい、審判がパラ射撃のルールに対応できるのか、との要望と質問があった。
佐橋競技企画部会長より、以下の回答があった。
 - SH2 を加えていく事は田中辰美理事と検討していくたい。
 - パラ射撃に詳しい審判を育成する必要がある事は認識している。
まずは、注意点をフォローする形で対応する。
- 松丸会長より、バリアフリーばかりの射場ではないので、パラ射撃選手に事故がないように注意してほしい、との指示が佐橋競技企画部会長へあった。
- 佐橋競技企画部会長より、資料 8 主催競技会計画について以下の修正と意見が述べられた。
 - 4, 5 月の全日本ライフル射撃クラブ対抗選手権大会は、埼玉県長瀬に変更
 - 8 月の第 7 回全日本小中学生ライフル射撃選手権大会は、検討中へ変更
 - 11 月の全日本ライフル射撃クラブ対抗選手権大会は、埼玉県長瀬に変更
 - 本選の回数を増やしたい試合があれば、受け入れたい。

3) 2021 年度選手強化・オリンピック最終選考関係の訂正

田村副会長より、資料 8 選手強化・オリンピック最終選考関係について、以下の訂正がなされた。

- 4 月 17 日（土）・18 日（日）・19 日（月） 修正
東京 2020 オリンピック最終選考会（25m 種目） 東京都 北区
- 4 月 27 日（火） 25m 最終選考会 削除
- 5 月 1 日（土） 25m 再最終選考会 削除
- 4 月 21 日（水） 追加
東京 2020 オリンピック再最終選考会（25m 種目） 東京都 北区

4) 会議時間の長さについて

永谷常務理事より、本日の理事会は 3 時間半かかっており、もう少しコンパクトにすべきではないか、との意見があった。

松丸会長より、以下の回答と提言がなされた。

ガバナンスコードは理事会での決定プロセスを重視していることから審議事項は増える傾向にある、とした上で、

- 事前に資料送付できた報告事項は理事会では説明を省き質疑だけにする。
- 定時理事会だけでなく適宜に臨時理事会をオンライン等で開催すること等を検討したい。

16時58分に議長の松丸会長が閉会を宣言した。

2021年2月27日

議事録署名人

公益社団法人日本ライフル射撃協会

議長、代表理事（会長）松丸喜一郎

松丸喜一郎



代表理事

田村恒彦

田村恒彦



代表理事

袴田登喜造

袴田登喜造



監事

石崎和男

石崎和男



監事

香西俊輔

香西俊輔

